

# 高齢者の社会参加と暮らしを支えるためのアンケート

## ～ご協力のお願い～

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

市では、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくりをより一層進めるため、来年度に「地域福祉計画」「高齢者総合計画」「障害者総合計画」をそれぞれ改定いたします。この計画に市民の皆さまの意見をいかすため、65歳以上の中から2,000人を無作為抽出したところ、あなたにアンケートをお願いすることになりました。

調査結果は、皆さまが健やかな毎日を過ごせる地域づくりに役立てます。

ところで、「地域福祉」という言葉を聞いたことはありますか？

調布市ではこれまで、国の取組よりも一足早く、地域のみんなで支え合い、みんなで助け合う誰もが暮らしやすい地域づくりを進めてきました。このことを「地域福祉」といいます。

例えば、地域のお祭りに参加したり、身近な公園を掃除したり、誰かが困っている時に声をかけたりすることも、地域福祉活動のひとつです。

地域福祉は、市民、団体、企業の皆さまが対象であり、活動主体も皆さまです。市民主役の地域づくりを市全体にさらに広げていくための計画が「地域福祉計画」なのです。



このアンケートは無記名で行い、回答は統計的に処理いたします。個人が特定されたり、調査目的以外に使用することはありませんので、率直なご意見をお聴かせください。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和4年●月 調布市長 長友貴樹

～記入についてのお願い～

【回答期限】 令和4年●月●日(●)

【回答方法】 《郵送》または《インターネット》  
(※どちらか一つの方法で、投函もしくは送信してください)

《郵送》調査票による回答の方法

- ①封筒のあて名ご本人がお答えください。  
なお、ご本人が回答することが難しい場合、ご本人の意見を聞いて、ご家族や代理の方が記入しても差し支えありません。
- ②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」を選択する場合は番号を○で囲み、( )に具体的な内容を記入してください。
- ③質問によっては、回答数や回答者が限られる場合があります。
- ④回答終了後、同封の返信用封筒に入れて封緘し、回答期限までにポストに投函してください。

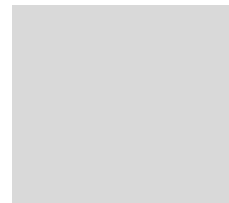
《インターネット》回答の方法

- ①以下のURL, またはQRコードから専用ウェブサイトアクセスしてください。
- ②ログイン画面で下記のパスワードを入力すると回答ページに移動します。調査票と同じ質問が画面に表示されます。
- ③途中保存はできませんので、お時間に余裕のある時にご回答ください。

<専用ウェブサイトURL>

https \*\*\*\*\*

パスワード \*\*\*\*\*



【調査についてのお問い合わせ先】

調布市 福祉健康部 高齢者支援室 担当 小林, ●●

電話 042-481-7149(課直通)

Fax 042-481-4288

E-mail kourei@w2.city.chofu.tokyo.jp

★は、令和元年調査にあった設問  
★#は、同調査の設問から選択肢や回答者を変更した設問  
#は、新規設問

# 1 あなた(ご本人)についておたずねします

問1 ★#性別を教えてください。(1つに○)

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

問2 ★#年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年●月1日現在)

1 65～69歳	3 75～79歳	5 85歳以上
2 70～74歳	4 80～84歳	

問3 ★#お住いの小学校地域(福祉圏域)を教えてください。(1つに○)

小学校地域 (番号に○)	(参考)地域に属する地区 (○は不要)
1 緑ヶ丘・滝坂	***市で挿入
2 若葉・調和	
3 北ノ台・深大寺	
4 上ノ原・柏野	
5 第二・八雲台・国領	
6 染地・杉森・布田	
7 第一・富士見台・多摩川	
8 第三・石原・飛田給	

※同じ地区でも小学校地域が異なる場合があります。

問4 #市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)

1 1年未満	4 5年以上 10年未満	7 30年以上
2 1年以上3年未満	5 10年以上 20年未満	
3 3年以上5年未満	6 20年以上 30年未満	

問5 ★#住居形態を教えてください。(1つに○)

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1 自宅(持ち家)で生活している | 3 病院に入院している,施設を利用している |
| 2 自宅(賃貸)で生活している  | 4 上記以外                |

問6 ★同居している家族構成を教えてください。(1つに○)

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1 ひとり暮らし          | 4 上記(1~3)以外で世帯全員が65歳以上 |
| 2 夫婦のみ(配偶者は65歳以上) | 5 上記(1~4)以外            |
| 3 夫婦のみ(配偶者は65歳未満) |                        |

問7 ★あなたは現在,介護を受けていますか。(いくつでも○)

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| 1 家族や親族から介護を受けている         |  |
| 2 介護保険制度を利用して介護を受けている     |  |
| 3 ボランティアから介護を受けている        |  |
| 4 その他の人から介護を受けている(具体的に: ) |  |
| 5 介護を受けていない               |  |

## 2 ご近所づきあいについておたずねします

問8 ★ご近所とのおつきあいはどの程度していますか。(主なもの1つに○)

- |                            |      |
|----------------------------|------|
| 1 家を行き来するなど,親しく近所づきあいをしている |      |
| 2 立ち話をする程度のつきあいをしている       |      |
| 3 あいさつをする程度のつきあいをしている      |      |
| 4 近所づきあいをしていない             | →付問へ |

付問★ 前問で「4 近所づきあいをしていない」と答えた方におたずねします。ご近所づきあいをしていない理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                        |  |
|------------------------|--|
| 1 仕事や家事などで忙しく時間がないから   |  |
| 2 引っ越してきて間もないから        |  |
| 3 普段つきあう機会がないから        |  |
| 4 同世代の人が近くにいないから       |  |
| 5 気の合う人・話の合う人が近くにいないから |  |
| 6 あまり関わりをもちたくないから      |  |
| 7 その他(具体的に: )          |  |

高齢者アンケート【65歳以上】

問9 #暮らしの中で住民同士の助け合い・支え合いを必要としますか。(1つに○)

- |                    |        |
|--------------------|--------|
| 1 とても必要と思う         | } →付問へ |
| 2 どちらかといえば、必要と思う   |        |
| 3 どちらかといえば、必要ないと思う |        |
| 4 必要ないと思う          |        |

付問# 前問で「1～2(必要と思う)」と答えた方におたずねします。ご近所づきあいが役に立つと思う事柄は何ですか。(いくつでも○)

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1 災害時の助けあい         | 4 わからないこと、困った時の助けあい       |
| 2 空き巣や不審者等の防犯      | 5 虐待やDV <sup>※1</sup> の防止 |
| 3 子どもの健やかな成長, 非行防止 | 6 その他(具体的に: )             |

※1 DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人など親密な関係にある(またはあった)者から振るわれる暴力。身体的、精神的、経済的、性的な暴力など、あらゆる暴力を含む。

### 3 市民同士のささえあい、地域活動についておたずねします

問10 ★あなたは次の事柄について、家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また、まわりの人に手助けできること(してもいいこと)はありますか。①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ1つに○をつけてください。

	①手助けしてほしいか		②手助けできるか	
	してほしい	してほしくない	できる・してもいい	できない・しない
回答例	①	2	①	2
ア 安否確認の声かけ	1	2	1	2
イ ちょっとした買い物やごみ出し	1	2	1	2
ウ 食事や掃除・洗濯の手伝い	1	2	1	2
エ 通院の送迎や外出の手助け	1	2	1	2
オ 子どもの預かり	1	2	1	2
カ 話し相手や相談相手	1	2	1	2
キ 災害時避難の手助け	1	2	1	2
ク 具合がよくないときに、病院等に連絡する	1	2	1	2

問11 #この1年で、家族以外のまわりの人に、上記ア～クのような手伝いや手助けをしましたか。また、手伝いや手助けをしてもらいましたか。(それぞれ1つに○)

①手伝いや手助けをしたか	1 した 2 しなかった(そういう場面はあった) 3 そういう場面がなかった
②手伝いや手助けをもらったか	1 してもらった 2 してもらわなかった(して欲しいことはあった) 3 して欲しいことがなかった

高齢者アンケート【65 歳以上】

問12 #家族以外のまわりの人に、問 10 ア～クのような手伝いや手助けをする(してもらう)にあたり、どのような取組があるとよいと思いますか。(いくつでも○)

1 手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート(紹介)する仕組み	
2 手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み	
3 手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み	
4 その他(具体的に: )	
5 取組は必要ない(できる時はする)	
6 わからない	

問13 ★#市内では多くの地域活動・ボランティア活動が行われています。次のような地域活動・ボランティア活動に取り組んでいますか。また、今後は取り組みたいですか。①取組状況, ②今後の意向について、それぞれ1つに○をつけてください。

	①取組状況		②今後の意向		
	取り組んでいる	取り組んでいない	取り組みたい	取り組まない	わからない
回答例	①	2	①	2	3
ア 子育て世帯・青少年を支援する活動	1	2	1	2	3
イ 高齢者を支援する活動	1	2	1	2	3
ウ 障害のある人を支援する活動	1	2	1	2	3
エ お祭りや運動会等のレクリエーション活動, 地域の伝統や文化を伝える活動	1	2	1	2	3
オ 交通安全や犯罪防止など, 地域の安全を守る活動	1	2	1	2	3
カ 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	1	2	1	2	3
キ 地域の環境美化, 環境保全・自然保護などの活動	1	2	1	2	3
ク 自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	1	2	1	2	3
ケ 趣味・習いごとなどの活動	1	2	1	2	3

高齢者アンケート【65歳以上】

問14 ★多くの市民が地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすくなるため、どのような条件が大事だと思いますか。(いくつでも○)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 子どもの世話や介護を代わってもらう   | 7 参加することでメリットがある(報酬等) |
| 2 活動や団体に関する情報を紹介してくれる | 8 活動資金の補助や援助がある       |
| 3 友人等と一緒に参加できる        | 9 その他(具体的に: )         |
| 4 時間や期間にあまりしぼられない     | 10 わからない              |
| 5 身近なところに活動できる場がある    | 11 条件によらず, 参加したくない    |
| 6 世話人やリーダーがいる         |                       |

問15 #地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますか。(いくつでも○)

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1 市や社会福祉協議会の広報, ホームページ | 6 大会・イベントのホームページ |
| 2 学校や職場のポスター, チラシ      | 7 SNSで調べる        |
| 3 駅, お店のポスター, チラシ      | 8 友人・知人に聞く       |
| 4 ボランティア等の募集情報サイト      | 9 その他(具体的に: )    |
| 5 活動団体のホームページ          | 10 わからない, 関心がない  |

問16 ★あなたは今後、地域活動・ボランティア活動に取り組みたいですか。(1つに○)

- |                    |                 |        |
|--------------------|-----------------|--------|
| 1 積極的に, 取り組んでいきたい  | 4 取り組みたいが, できない | } →付問へ |
| 2 できるだけ, 取り組んでいきたい | 5 あまり取り組みたくない   |        |
| 3 機会があれば, 取り組んでもよい |                 |        |

付問★ 前問で「4～5(できない, 取り組みたくない)」と答えた方におたずねします。地域活動・ボランティア活動ができない, 取り組みたくない理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 興味のある活動がないから  | 7 きっかけがないから     |
| 2 活動に関する情報がないから | 8 人づきあいが面倒だから   |
| 3 経済的負担が大きいから   | 9 興味がないから       |
| 4 介護・育児で忙しいから   | 10 地域に関わりたくないから |
| 5 メリットを感じないから   | 11 その他(具体的に: )  |
| 6 時間がないから       |                 |



## 4 就労についておたずねします

問17 ★#現在の職業を教えてください。(1つに○)

- |                                     |        |
|-------------------------------------|--------|
| 1 正規の社員・職員・役員                       | } →付問へ |
| 2 非正規の社員・職員(嘱託, パート, アルバイト, 契約, 派遣) |        |
| 3 自由業・自営業(家業手伝いを含む)                 |        |
| 4 シルバー人材センター・有償ボランティア               |        |
| 5 仕事はしていない                          |        |

付問# 前問で「1～3(会社等で働いている)」と答えた方におたずねします。現在の職業に就いている経緯を教えてください。(いくつでも○)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 継続雇用                              |
| 2 再就職(ハローワーク, 友人・知人, 民間(情報誌, 登録など)) |
| 3 独立して開業                            |
| 4 その他(具体的に: _____ )                 |

問18 ★あなたが仕事をする主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1 生活費をまかなうため      | 6 技術や経験を活かしたいから     |
| 2 健康によいから         | 7 地域に貢献したいから        |
| 3 働くことに生きがいを感じるから | 8 その他(具体的に: _____ ) |
| 4 社会的に現役でいたいから    | 9 働くつもりはない          |
| 5 時間に余裕があるから      |                     |

問19 #高齢者が就労する(続ける)ために特に必要なことは何ですか。(3つまで○)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1 健康・体力          | 6 仕事に合わせる柔軟性        |
| 2 専門知識・技能        | 7 人脈・知り合い           |
| 3 協調整・真摯な態度      | 8 定年前からの準備          |
| 4 意欲・情熱          | 9 その他(具体的に: _____ ) |
| 5 高齢者にあった職場・就労環境 | 10 わからない            |

## 5 災害時の対策についておたずねします

問20 ★災害や火災などの緊急時に一人で避難することができますか。(1つに○)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1 一人で判断し、避難できる      | 3 一人では判断できないし、避難もできない |
| 2 一人で判断できるが、避難はできない |                       |

問21 ★#災害や火災などの緊急時に避難を助けてくれる人がいますか。(いくつでも○)

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1 家族                | 4 その他(具体的に: )       |
| 2 近所の友人・知人          | 5 避難を助けてくれるような人はいない |
| 3 自治会・民生委員などの地域の支援者 |                     |

問22 #防災マップ、洪水ハザードマップ等で避難場所・避難経路・警戒区域等を確認していますか。(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 確認している | 2 確認していない |
|----------|-----------|

問23 #災害や火災等の緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。(1つに○)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 1 防災行政無線        | 6 ケーブルテレビ     |
| 2 調布市防災・安全情報メール | 7 SNS         |
| 3 調布 FM         | 8 その他(具体的に: ) |
| 4 市ホームページ       | 9 わからない       |
| 5 市ツイッター        |               |

問24 #一人で避難することが難しくなった場合に備えて、避難行動要支援者名簿※に登録する意向はありますか。(1つに○)

- |                   |         |
|-------------------|---------|
| 1 登録したい(既に登録している) | 2 登録しない |
|-------------------|---------|

※ 市では、災害時の避難行動に支援が必要な高齢者や障害者など(避難行動要支援者)の名簿を作成しています。名簿の対象者のうち、同意を得られた方の名簿情報については、平常時から避難支援等関係者に提供し、日頃からの交流を通じた災害に対する助け合いの体制を構築しています(出典 調布市 HP)。

## 6 健康増進, 権利擁護の取組についておたずねします

問25 ★「高齢者」と意識する年齢は、何歳からですか。あなたの意識にもっとも近いものをお答えください。(1つに○)

1 65 歳以上	3 75 歳以上	5 85 歳以上
2 70 歳以上	4 80 歳以上	

問26 #あなたは、これからも健やかに暮らすために次のことに取り組んでいますか。(それぞれ 1 つに○)

	今, 取り組んでいる	取り組んでいないが, 今後は取り組む	取り組んでいないし, 今後も取り組まない	わからない
回答例	①	2	3	4
ア 認知症予防	1	2	3	4
イ フレイル予防	1	2	3	4

問27 ★近年, 人生のエンディングに向けて, 元気なうちから様々な準備をする活動が広がっています。  
①あなたは, 次のような事柄をご存知でしたか。②今後次のような事柄を活用したいと思いますか。(それぞれ1つに○)

	①認知状況		②今後の活用意向		
	知っている	知らない	活用したい	活用しない	わからない
回答例	①	2	①	2	3
ア 終活(エンディング)ノート (銀行口座などの財産や介護や医療に関する希望, 葬儀の内容など, 自分の思いや希望を家族等親族に伝えるために書き記すノートのこと)	1	2	1	2	3
イ ACP(アドバンス・ケア・プランニング) (自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて, 前もって考え, 医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組のこと)	1	2	1	2	3

高齢者アンケート【65 歳以上】

問28 ★地域で認知症の人やその家族を支えるため、どのような取組に力を入れる必要があると思いますか。(いくつでも○)

- |  |
|--|
| 1 市民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供    |
| 2 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実                 |
| 3 できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり |
| 4 家族の身体的・精神的負担を減らす取組                   |
| 5 家族の仕事と介護の両立支援を含めた、経済的負担を減らす取組        |
| 6 認知症の人を地域で見守る体制の充実                    |
| 7 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実            |
| 8 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組           |
| 9 認知症の人が利用できる介護施設の充実                   |
| 10 認知症になっても地域で役割を持って暮らし続けられる体制の整備      |
| 11 認知症にも対応している保険の充実                    |
| 12 その他(具体的に: )                         |
| 13 特にない                                |

問29 #ご自身の判断能力が低下し、財産の管理や身の回りの手続きなどに支援が必要となった場合、誰に支援をしてほしいですか。(2 つまで○)

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1 家族, 親族                   | 4 市民後見人       |
| 2 友人, 知人                   | 5 その他(具体的に: ) |
| 3 成年後見人(弁護士, 司法書士, 社会福祉士等) | 6 わからない       |

## 7 暮らしのことについておたずねします

問30 # コロナ禍によってあなたの暮らしに影響はありましたか。(それぞれ1つに○)

	増えた	変化なし	減った	事柄が該当しない わからない
回答例	①	2	3	4
ア 勉強や学習等のスキルアップに充てる時間	1	2	3	4
イ 人との会話や連絡の頻度(電話やLINE等を含む)	1	2	3	4
ウ 保育サービス、福祉サービス等の利用頻度	1	2	3	4
エ 興味や関心のあることに充てる時間	1	2	3	4

問31 ★ 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

1 同居の家族	9 市役所
2 別居の家族や親戚	10 社会福祉協議会
3 自治会や近所の人	11 地域包括支援センター
4 友人・知人	12 ちょうふ若者サポートステーション
5 民生委員・児童委員	13 子ども家庭支援センターすこやか
6 地域福祉コーディネーター※1	14 調布ライフサポート※2
7 ケアマネジャー・ヘルパー等の事業者	15 その他(具体的に: )
8 かかりつけ医や保健師等の医療関係者	16 身近に相談できる人や機関はない

※1 地域福祉コーディネーター(コミュニティソーシャルワーカー=CSW)とは、制度の狭間で苦しんでいる方や既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方などに対し、地域福祉を育むことにより、福祉の生活課題の解決に向けた取組を行っています。主な役割としては、地域の福祉課題やニーズを発見し、受け止め、地域組織や関係機関と協力しながら、地域における支え合いの仕組みづくりや地域での生活を支えるネットワークづくりを行います。平成25年4月より、調布市社会福祉協議会の職員が地域福祉コーディネーターとして活動しており、今年度下半期から、8圏域に8人を配置してまいります。

※2 経済的な理由等でお困りの方に対するトータルな相談窓口

高齢者アンケート【65 歳以上】

問32 # 差し支えなければお答えください。現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○)

- |      |      |      |
|------|------|------|
| 1 ある | →付問へ | 2 ない |
|------|------|------|

付問 # 前問で「1 ある」と答えた方におたずねします。どのような困りごとですか。(いくつでも○)  
差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(自由記述)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1 自分の健康・障害・病気     | 7 親の健康・障害・病気・介護・仕事    |
| 2 自分の学業・仕事        | 8 兄弟姉妹の健康・障害・病気・介護・仕事 |
| 3 自分の将来           | 9 住まいにかかること           |
| 4 子どもの健康・障害・病気・介助 | 10 お金にかかること           |
| 5 子どもの学業・仕事       | 11 人間関係, 人づきあいにかかること  |
| 6 子どもの将来          | 12 その他(具体的に: )        |

問33 # 自宅以外に一人で、あるいは友人達と過ごす場所がありますか。(1つに○)

- |      |      |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問34 # 自宅以外に一人で、あるいは友人達と過ごす場所は必要ですか。(1つに○)

- |         |      |        |
|---------|------|--------|
| 1 必要である | →付問へ | 2 必要ない |
|---------|------|--------|

付問 # 前問で「1 必要である」と答えた方におたずねします。どのような場所を希望しますか。(1つ, または, いくつでも○)

- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| 1 知人宅                      | 7 商業施設(飲食店除く) |
| 2 文化施設(図書館, 資料館など)         | 8 公園・自然       |
| 3 集会施設(公民館・自治会館, 交流スペースなど) | 9 ネット・SNS 上   |
| 4 福祉施設                     | 10 その他        |
| 5 運動施設                     | (具体的に: )      |
| 6 飲食店                      |               |

## 8 デジタルの活用についておたずねします

問35 # 調布市の保健福祉施策(サービス)に関する情報をどこから入手していますか。(いくつでも○)

- |                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| 1 インターネットサイト(ホームページ, SNS)  | 4 テレビ(ケーブルテレビを含む)・ラジオ |
| 2 市の広報紙, 印刷物               | 5 家族, 知人からの口コミ        |
| 3 相談窓口(市役所, 行政機関, 行政事務所など) | 6 特にない・情報は入手していない     |

問36 # 普段, スマートフォン等の情報端末やパソコンなどを使っていますか。(1つに○)

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 使っている | 2 使っていない |
|---------|----------|

問37 # あなたの年齢や家族構成を事前に登録しておき, 市からのお知らせや保健福祉の情報があなたのスマートフォン等に定期的に届く仕組みがあれば, 利用しますか。(1つに○)

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 利用したい | 2 利用しない | 3 わからない |
|---------|---------|---------|

問38 # 市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンラインで開催されたら, 参加しやすくなりますか。(1つに○)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1 参加しやすくなる        | 3 いずれにしろ参加しない, 関心がない |
| 2 変わらない(参加しやすくない) |                      |

問39 # あなたは, 市のスマートフォンやパソコンの使い方講座を受講したいですか。(スマートフォンやパソコンをもっていない方も受講できます)(1つに○)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 普段から使用しているが, 受講したい  | 3 普段から使用しているのに, 受講しない |
| 2 普段は使用していないので, 受講したい | 4 普段も使用していないが, 受講もしない |
|                       | 5 わからない               |

## 9 誰もが暮らしやすい地域づくりについておたずねします

問40 #お住まいの地域の暮らしやすさについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ア 隣近所などとのつきあい	1	2	3	4	5
イ 町内会・地区協議会の活動	1	2	3	4	5
ウ 地域の交流	1	2	3	4	5
エ サークルやボランティアの活動	1	2	3	4	5
オ 地域の防災対策	1	2	3	4	5
カ 相談できる体制	1	2	3	4	5
キ 買い物などの便利さ	1	2	3	4	5
ク 道路や交通機関などの使いやすさ	1	2	3	4	5
ケ 公的な手続きの便利さ	1	2	3	4	5



高齢者アンケート【65 歳以上】

問41 ★# 高齢者の生活を守る取組や相談窓口等があります。下記のことをご存知ですか。(それぞれ1  
つに○)

		知っている	知らない
回答例		①	2
ア 見守りネットワーク(みまもっと)	地域住民, 協力団体等が, 地域の高齢者等の異変や生活上の支障等に気づいたら, その情報を地域包括支援センターに連絡する活動です。	1	2
イ 高齢者虐待防止法	高齢者を虐待から守ることを目的として平成 18 年 4 月に施行されています。高齢者虐待とは, 身体的暴行のほか, 心理的外傷を与える言動, 世話の放棄, 財産の不当な処理等も含まれます。	1	2
ウ 調布市消費生活相談室	買物相談をはじめ, 悪質商法の被害等, 市民の消費生活に関するさまざまなトラブルや相談に対応しています。	1	2
エ 地域包括支援センター	高齢者の方やご家族の方が, 地域で安心して暮らせるよう, 福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口です。	1	2
オ 「くらしの案内～シルバー編～」	高齢者向けに行っている各種事業を市民にお知らせするために, 毎年, 発行している冊子です。	1	2
カ 調布ライフサポート	経済的な理由等で生活にお困りの方に対するトータルな相談窓口です。	1	2
キ 住まいぬくもり相談室	適切な民間賃貸住宅の情報の提供や福祉サービス, 行政支援などを紹介します。	1	2

高齢者アンケート【65歳以上】

問42 #誰もが暮らしやすい地域づくりという視点で市内の施設や環境、人々の意識を振り返ると、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

	とても充実している	充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない
回答例	①	2	3	4	5
ア 車いすの方や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす,幅を広げる)	1	2	3	4	5
イ 公共施設や病院等のスロープ,エレベーターやエスカレーター	1	2	3	4	5
ウ 車いすの方や乳幼児を連れた方など誰もが使いやすいトイレ	1	2	3	4	5
エ 歩きやすいように,障害物(商品や看板,放置自転車,電柱等)が取り除かれ,段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路	1	2	3	4	5
オ 点字ブロックや視覚障害者用の信号機	1	2	3	4	5
カ 車いすやベビーカーで乗降しやすい超低床バスやリフト付バス	1	2	3	4	5
キ 障害者用の駐車場	1	2	3	4	5
ク 大きな文字,絵,複数の言語を用いた誰もがわかりやすい案内標示	1	2	3	4	5
ケ 手話のできる職員が配置されていたり,音声ガイドがある施設	1	2	3	4	5
コ 補助犬と同伴での入室が配慮された店・レストランなど	1	2	3	4	5
サ 公園,道路などを含むまち全体のユニバーサルデザイン※1	1	2	3	4	5
シ 高齢者,子ども連れの家族,障害や病気等に配慮する人々の意識や接し方	1	2	3	4	5

※1 ユニバーサルデザインとは,道路・住宅・製品などを設計製造する場合に,障害のある人用という区分けをなくし,誰でもが使えるものを作るという考え方。

高齢者アンケート【65 歳以上】

問43 #誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて、病気、障がい、国籍、生活習慣等の違いによる心理的な障壁を取り除く(心のバリアフリー)ために、特に必要な取組は何だと思いますか。(2つまで○)

- 1 学校における、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育
- 2 意識啓発のための研修・講演会の開催
- 3 障害者、外国人等、様々な住民が交流する機会を増やす
- 4 わかりやすい、使いやすい情報の提供
- 5 その他(具体的に: )
- 6 わからない

問44 ★調布市の高齢者保健福祉施策(サービス)をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。(5 つまで○)

- 1 趣味や生きがいづくり、社会参加への支援
- 2 働く機会や場所づくり
- 3 介護が必要にならないための健康づくりなどの支援
- 4 自立生活のための家事(炊事・洗濯・掃除など)についての指導
- 5 介護保険サービスの充実(ホームヘルプサービス, デイサービス, ショートステイなど)
- 6 介護保険以外の保健福祉サービスの充実(配食サービス, 紙おむつの給付など)
- 7 ボランティアや地域活動の充実
- 8 ひとり暮らしなどの高齢者に対する見守りや支え合う地域づくりへの支援
- 9 低所得者等への経済的支援
- 10 既存住宅の改修支援
- 11 安価な賃貸住宅の供給
- 12 段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関の整備
- 13 特別養護老人ホームなどの入所施設の整備
- 14 利用しやすい成年後見制度
- 15 介護者に対する支援
- 16 その他(具体的に: )
- 17 わからない

高齢者アンケート【65 歳以上】

問45 ★介護者支援策として、あなたが必要だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

1 介護者に対する定期的な情報提供 2 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり 3 リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供 4 電話や訪問による相談サービス 5 本人や介護者が集まって話せる場づくり 6 家族会や介護者の自助グループ 7 在宅介護者への手当 8 介護休業取得者のいる企業への支援制度 9 介護者が仕事を続けることができる支援制度, 再就職支援施策 10 介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり 11 その他(具体的に: ) 12 特にない
---

問46 ★#市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らす地域づくり(地域福祉)に向けた取組について、ご意見、ご提案がございましたらお聞かせください。(自由記述)

ア 地域活動, 市民同士の ささえあい	
イ 相談, サービス	
ウ 安全・安心・環境	
エ 上記以外	

アンケートは以上です。たくさん質問にお答えいただき、誠にありがとうございました。  
調査結果は市ホームページで公表し、図書館等で閲覧できます(令和5年4月頃の予定)。